

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業「市民の学習成果の発表の場提供事業」

「やさしい切り絵教室」を開催しました。

平成28年1月7日（木）から3月17日（木）までの期間、切り絵作家の大西良介さんを講師に迎え、「やさしい切り絵教室」（全6回）を開催しました。

受講したほとんどの方が道具をそろえることからスタートする初心者の方です。

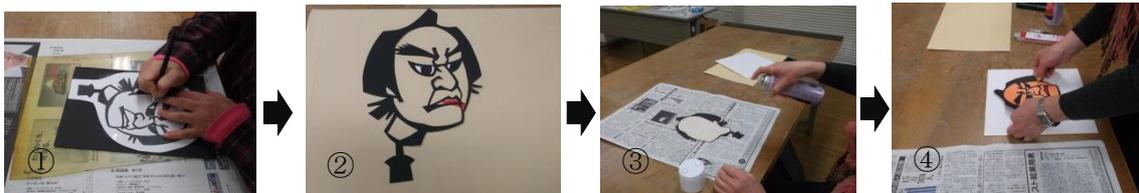
第1回目は、切り絵入門編として「文楽人形のかしら」を製作し、基本をマスターしました。

- ①下絵と黒紙をセロハンテープで留め、下絵に合わせて切ります。
- ②色付け用の紙を切ります。
- ③スプレーのりを使って、黒紙の裏から色付け用の紙を張りつけます。
- ④スプレーのりを全体に吹き付け、色紙に張ります。
- ⑤仕上げに落款を押します。



⑤

《文楽人形のかしら》



《切り方の注意点》

- カッターはペンを持つように自然に持ち、手前に向けて切る。
- 画は自由に廻し、動かしてもよい。
- 画は小さい部分、または中心から切る。
- 交差点は少し切り込みすぎるくらいがよい。
- 切るごとに黒紙を取る。切り始めると休まず一気に切る。
- 最後に外側を切って黒紙を取り出す。
- 取り出した画を白紙の上へ置き、切り残しなどをそうじする。



《くちなし》

《色付け用の紙の切り方の注意点》

- 小さいところから切る。下絵の黒の部分の真ん中を切る。

《貼り付けの注意点》

- 要らない紙等をすべて片づけて、机の上をきれいにする。
- 小さいところから貼る。はみ出したら修正する。



《ゆり》



《ひな祭り》

2回目からは、「文楽のかしら」でマスターした切り絵の技法を使い、「くちなし」「ゆり」「ひな祭り」「節分」の作品を完成させました。

受講した皆様からは、6回の講座でマスターした切り絵を、これからも季節に合った図案で作品を作りたいとの声をいただきました。



《節分》